測定日	測定時間	測定湿度（%）	同時刻熊谷湿度	湿度差	室温	同時刻熊谷外気温
7月1日	6:30	50	75	−25	25	16.2
7月2日	5:00	53	97	−44	26	19.7
7月3日	6:30	54	90	−36	24	19.1
7月4日	6:30	58	91	−33	24	22.0
7月5日	5:30	57	96	−39	26	21.8
7月6日	6:30	63	91	−28	24	24.0
7月9日	20:00	46	65	−19	26	25.8
7月10日	6:00	58	91	−33	24	23.2
7月11日	7:30	54	82	−28	26	23.7
7月12日	7:00	60	89	−29	26	28.0
7月13日	7:30	60	89	−29	26	26.0
7月14日	7:00	62	94	−32	26	24.6
7月15日	7:30	63	84	−21	27	26.7
7月16日	6:00	60	88	−28	27	28.1
7月17日	7:00	57	77	−20	28	27.0
7月18日	5:30	54	87	−33	26	26.5
7月20日	8:00	53	83	−30	23	19.6
7月21日	7:30	50	87	−37	20	17.4
7月22日	7:00	53	87	−34	23	21.0
7月23日	7:00	60	91	−31	23	22.5
7月24日	7:00	59	87	−28	25	25.3
7月25日	7:00	58	76	−18	26	26.0
7月26日	5:30	61	80	−19	26	26.4
7月27日	7:00	53	79	−26	28	24.4
7月28日	7:00	57	82	−25	27	27.5
7月30日	7:00	64	79	−15	28	28.3
7月31日	6:00	58	83	−25	27	26.7
7月	平均湿度	56.85	85.18			

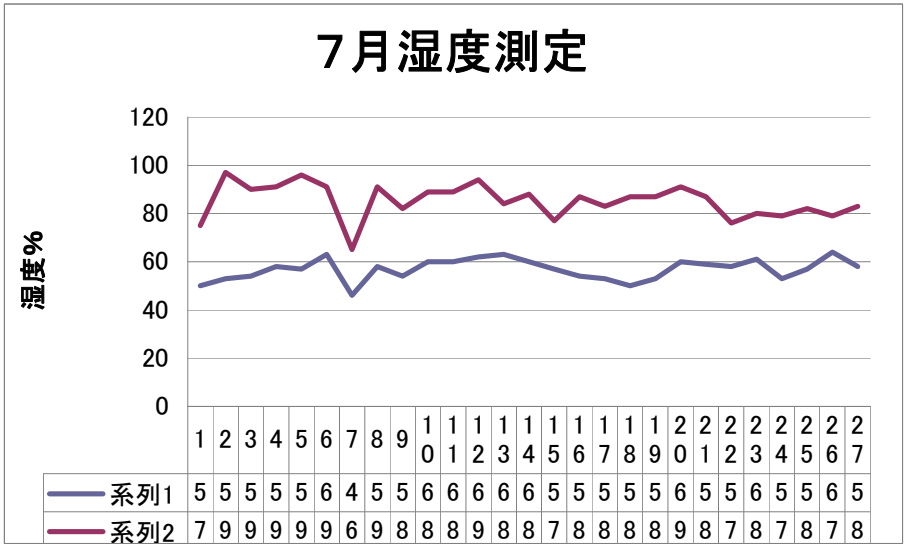
備考

測定場所＝室内・床面より450mm（tv台上）　　測定条件：エアコン使用無し

湿度・外気温とも測定地域に一番近い熊谷気象台の測定データを気象庁統計より参照

測定時間と気象庁データの整合性あり

測定場所：埼玉県比企郡滑川町羽尾（雉やまの家）



室内仕様：床　・杉無垢板36mm及び畳(藁床)　天井　・杉無垢板30mm(全面)

壁　・PB12.5下地ローラー漆喰　断熱材・ウッドファイバー

考察：　立地的に風通しがよく、通風を考えた開口部の設置を有効に活用され、常に窓が開けられていることを踏まえても、湿度の低さは内装材及び断熱材も含めた吸湿性能が大きいと考えられるがこれほどの良い結果は環境条件によるところが大きく一般的では無いと思われる。

体感温度は一般的に湿度が10%下がると1度低く感じるといわれています。

データでは平均して28%下がっているが温湿度計の誤差や、測定の地域性を考慮し仮に20%と考えてもマイナス1．5度から2度体感的に低いと言えるのではないだろうか。

室内温度も25度から28度の範囲にあり湿度が60%を切る現状は快適な環境と言える。

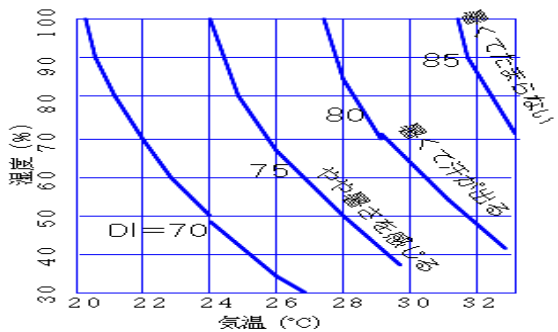



図3　不快指数と温度・湿度の関係